



下関労働基準監督署からのお知らせ

厚生労働省

令和6年8月

業種別労働災害発生状況

○令和6年7月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署
令和6年7月末現在

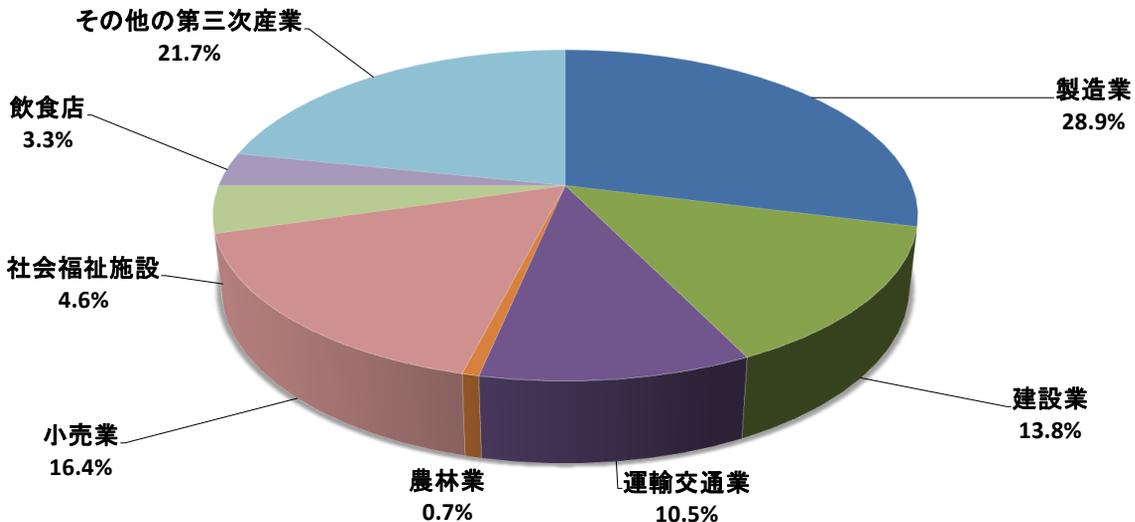
新型コロナウイルス感染症り
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減数	増減率	うち転倒災害件数				
							死亡	休業災害	合計	構成比※	占有率
全産業	0 (1)	152	152	100.0%	+12	+8.6%		42	42	100.0%	27.6%
製造業		44	44	28.9%	+2	+4.8%		11	11	26.2%	25.0%
鉱業					±0	—					—
建設業		21	21	13.8%	+12	+133.3%		1	1	2.4%	4.8%
運輸交通業		16	16	10.5%	-4	-20.0%		4	4	9.5%	25.0%
貨物取扱業					-1	-100.0%					—
農林業		1	1	0.7%	-3	-75.0%					—
畜産・水産業					±0	—					—
第三次産業	(1)	70	70	46.1%	+6	+9.4%		26	26	61.9%	37.1%
小売業		25	25	16.4%	+12	+92.3%		8	8	19.0%	32.0%
社会福祉施設	(1)	7	7	4.6%	-8	-53.3%		4	4	9.5%	57.1%
飲食店		5	5	3.3%	-4	-44.4%		1	1	2.4%	20.0%
その他の第三次産業		33	33	21.7%	+6	+22.2%		13	13	31.0%	39.4%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和6年7月末までに発生した労働災害は152人で、前年同期と比較して死亡災害は発生していませんが、12人増加しました。

製造業は、44人と前年同期と比較して2人増加しました。最も多い事故の型は「転倒」と「はさまれ・巻き込まれ」の11人で、前年同期と比較して「転倒」は3人増加し、「はさまれ・巻き込まれ」は2人増加しました。

建設業は、21人と前年同期と比較して12人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の7人で、前年同期と比較して6人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の5人で、前年同期と比較して3人増加しました。

小売業は25人と前年同期と比較して12人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の8人で、前年同期と比較して5人増加しました。続いて多い事故の型は「交通事故」の6人で、前年同期と比較して4人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の42人で、前年同期より10人増加しました。